

この講座は、**30-40歳代の妊娠**を考えている方、**妊娠高血圧症候群**と診断されたことのある方、**次の妊娠への不安**を抱えておられる方に、特に聞いていただきたい内容です。

第**2**回

日本妊娠高血圧学会 市民公開講座

オンライン
参加無料！

妊娠高血圧症候群だった私
次の妊娠までにできること、
妊娠したら**気をつけること**

テーマ

※ 裏面の解説も是非ご覧ください。

2023
9/30
土

14:00~15:00
ZOOMオンライン

お気軽に
ご参加ください！

※ 参加には事前のお申し込みが必要です。

QRコードまたはURLから
お申込みください。
後日、受講者用URLを
お送りします。



<https://forms.gle/tBy6caJvk2u8nJyi6>

申し込み
方法

主催

日本妊娠高血圧学会
第43回日本妊娠高血圧学会
学術集会



木田 可奈子

東京女子医科大学
高血圧内科 助教

【座長】

松岡 隆

昭和大学医学部
産婦人科 准教授

【座長】

川端 伊久乃

日本医科大学
産婦人科 講師

【演者】

妊娠高血圧症候群だった私 次の妊娠までにできること、妊娠したら気をつけること

妊娠中に高血圧を発症した場合、**妊娠高血圧症候群**と診断されます。
妊娠高血圧症候群は母体の高血圧だけではなく、肝臓や腎臓の働きが悪くなる、蛋白尿が出る、血小板の数が減るなど**全身に影響がある病気**です。
赤ちゃんの体重がなかなか大きくなりません。急激に病状が悪化すると母体に脳出血が起こったり、急に赤ちゃんの具合が悪くなったりする事もあります。

妊娠高血圧症候群と診断を受けた時、医師からは色々とても心配となるような説明を受けたのではないのでしょうか？中にはやむをえず早産でのご出産だった方、緊急の帝王切開でのご出産だった方もいらっしゃると思います。不安な中で受けた医師や助産師からの**説明はとても難しく**、今でも理解できていない部分がある方もいらっしゃるかもしれません。あの時のことを考えると、次の妊娠を考えることは**不安でいっぱい**になるのは無理もないかもしれません。

妊娠高血圧症候群は決して珍しい病気ではありません。**妊婦さん20人に1人の割合で発症**すると言われており、1年間では15,000人くらいの方が診断を受けています。
そして、一度妊娠高血圧症候群と診断された方、特に妊娠高血圧腎症と診断された方は、**その次の妊娠でまた妊娠高血圧症候群になるリスクが高い**ことが知られています。また、妊娠の際のリスクだけではなく、将来的な**高血圧や心血管系の病気にかかりやすい**ことがわかってきました。

今回の市民公開講座では、妊娠高血圧症候群という病気について改めて**わかりやすく解説**するとともに、次の妊娠を考える上で今できることがあるか、妊娠したら何に気をつけていったらいいのかを中心にお話しします。また、**将来的なご自身の健康管理**についてもお伝えできればと思います。

参加ご希望の方は、表面のQRコードから申し込みフォームに必要事項をご入力の上、送信ください。後日受講者用URLをお送りいたします。多数のご参加を心よりお待ちしております。